

火災がおきたらどうする？



初期消火は出火直後に！

行動1 通報

- 大声で「火事だ!」と叫ぼう**
- 大きな声で叫び、隣近所に知らせる。声が出ない場合は、非常ベルや音の出るものをたたく。
 - どんなに小さな火事でも119番通報を。

行動2 初期消火

- 出火直後が勝負**
- 火がまだ横に広がっているうちなら消火は可能。
 - コップに入った水や座ぶとんなど、身近なものを最大限に活用しよう。

行動3 避難

- 火が背の高さを超えたらすぐ避難**
- 避難するときは燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を遮断。すみやかに行動を。

危険を感じたらすぐ避難！

もっとも大切なのは、身の危険を感じたときに一刻も早く避難することです。服装や持ち物などにこだわらず、次のポイントを押さえながら、できるだけ早く避難してください。また、一度逃げ出したら、絶対に戻らないようにしましょう。いずれの場合も煙を吸わないよう注意しながら行動しましょう（詳しくは次ページ「本当に恐ろしいのは煙です!」参照）。



2階から脱出するときは

ロープや縄ばしごを使って避難を。シーツやカーテンをつないだものでも代用できます。やむを得ず飛び降りるときは、ふとんやマットレスなどクッションになるものを落としてから。



ビルにいるときは

上の階から出火した場合は、階段を使って下へ逃げます。下の階から出火した場合は、外階段から逃げます。もし下へ逃げられないときは、屋上の風上側で救助を待ちましょう。エレベーターは絶対使わないように。



炎の中を通るときは

迷わずに一気に走り抜けましょう。ぬらしたシーツを体全体に巻きつけると効果的です。

地下街にいるときは

壁際に身をよせ、煙からすばやく逃げます。出口は約60mごとにあるので、壁づたいに逃げましょう。パニックに巻き込まれないよう係員の誘導に従いましょう。

デパートなどでは

デパートやホテルなどの商業施設で火事になったときは、店内の放送や誘導員の指示に従いましょう。避難口がわからない場合は、誘導灯に従って壁づたいに行動を。

閉じ込められたときは

ドアのノブが熱い場合、廊下は高温状態の危険性も。危険と判断した場合はドアから出ず、ぬらしたタオルなどをドアのすき間などにつめて防衛し、窓を開けて逃げ遅れたことを外の人に知らせましょう。大声を出せない場合は笛や物をたたいて知らせましょう。



避難するときは、子どもや高齢者、病人などを優先!



消火器の使い方を覚えておきましょう

消火器の種類

消火器には、どんな種類の火事に適しているかを示すラベルが表示されています。使用目的に合った消火器を選びましょう。一般の家庭の場合は、万能タイプの粉末消火器が強化液消火器が便利です。

消火器の使い方

- ① 安全ピンに指をかけ、上に引き抜く
- ② ホースをはずして火元に向ける
- ③ レバーを強くにぎって噴射する

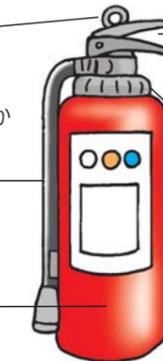
構え方

- ① 火の風上に回り、風上から構える。
- ② やや腰をおとして低く構える。
- ③ 熱や煙を避け、炎には真正面から向き合わない。
- ④ 炎を狙うのではなく、火の根元を掃くように左右にかける。



点検のポイント

- 安全ピン
 - 変形、損傷はないか
 - 封印は切れていないか
- レバー
 - 変形、損傷はないか
- キャップ
 - 変形やゆるみはないか
- ホース
 - ひび割れ、劣化、ゆるみはないか
- 本体・底部
 - サビや変形はないか
- ゲージがある場合
 - 圧力を示す針が規定値(緑色)内にあるか



住宅用火災警報器を活用しよう

火災の発生を早く知る

住宅用火災警報器

煙や熱を感知すると、音声や警報音で知らせてくれます。一般住宅や共同住宅に設置が義務づけられました。



本当に恐ろしいのは煙です!

煙は一酸化炭素などの有毒ガスを含んでいるため、吸い込むと中毒などにより命を落とす危険性があります。平成13年(2001年)に、44人の方が犠牲となった東京・新宿歌舞伎町ビル火災でも、そのほとんどが煙による一酸化炭素中毒死とみられています。万が一、火災に巻き込まれた場合には、右のポイントに気をつけながら避難してください。



- ぬらしたタオルやハンカチなどで、口と鼻をおおう。(無理な場合は、ネクタイや衣類で代用を)
- できるだけ姿勢を低くする。
- 階段では、はったまま後ろ向きに下りる。
- 短い距離なら、息をとめて一気に走り抜ける。
- 視界が悪いときは、壁づたいに避難する。